

## C) 普及啓発等を通じて新たな拡散を防止する種類

# ホテイアオイ

ミズアオイ科 *Eichhornia crassipes*

原産地：熱帯アメリカ

生態系被害防止外来種リスト：重点対策外来種

鹿児島県条例：指定外来動植物

IUCN 世界の侵略的外来種ワースト 100

## 特徴

水槽用の水草として普通に流通していた植物。葉柄の根元に浮きの役割を果たすふくらみがあるのが大きな特徴。成長が早く、短期間で大増殖してしまう。

**葉** : 葉は丸形で毛はなく、光沢を持つ。葉柄の根元に膨らみがあり、これが浮きの役割をすることで水に浮いている。

**花** : 葉の間から花茎を伸ばし、紫色の大きな花を総状に咲かせる。

**繁殖** : 栄養繁殖が非常に旺盛。水平方向に伸びる茎の先に子株をつけ、水面を覆い尽くすように生育する。種子繁殖も確認されており、種子は数年間もの間、発芽能力を保つとされている。



**影響** : 成長が早く、急激に大増殖し水面を覆い尽くしてしまう。水流、交通の妨げになるほか、水中へ日光が届かなくなり、他の水草や生物の住みにくい環境に改変してしまう。

**侵入状況** : かつて一般に広く流通していたため、民家の庭先等でよく目にする。また用水路、ため池、

沼地などにも侵入が見られ、場所によっては水面が見えないほどに大繁殖している。

対策状況 : 駆除の実績がある箇所もあるが、体系的な防除作業は実施できていない。

防除のコツ : 時期はあまり問わない。取り残しがないように丁寧に除去作業を行う必要がある。取り残した株からの再生育が1、2ヶ月程度で視認しやすくなるため、1、2ヶ月間隔での定期的な駆除作業が望ましい。

リンク : 鹿児島県外来種駆除対応マニュアル ホテイアオイ  
[https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/documents/72338\\_20220616094004-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/documents/72338_20220616094004-1.pdf)